

ハ乙女

成人

おめでとう

ございます

裸木の直ぐ立つ冬の静けさや

見上げて春のざわめきを聴く

篠原とみ子



南山見自治振興会 澤田武夫

新年あけましておめでとうございます。

地区の皆様方には、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より地区の自治振興にご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

南砺市は合併十周年を迎えます。この節目の年に南砺市議会議長として、我が地区から才川昌一さんが選任されました。私ども地区として心からお祝い申し上げます。

昨年は井波地域で市立認定こども園「井波にじいろ保育園」が竣工・開園しました。また井波瑞泉寺本堂修復、綽如上人750回忌法要も、地域の皆様方のご厚志により営まれました。

一方、九月の台風18号で、長雨による水害、旅川の増水による避難など、記憶に残る年でありました。近年災害は風害・水害・地震など多く発生しており、南山見地区も自主防災組織が未結成のところもあり、南砺市の呼び掛けもあって、今年三月末までに南山見防災会を設立する事を各町内へ要請しておりますが、必ず実現をし地区民あげて防災意識訓練を更に行い、少子高齢化、空き家などがますます増加していく現状の中で、安全で安心して住める地区を、住民全員で作っていきたいと思います。

結びになりますが、地区の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし年頭のことばといたします。



今年の目標

亀田侑佳
(平成14年生)



今年、私は小学六年生になります。

そこで、最高学年として二つの目標をたてました。

一つ目は、小学校一年生のころから習っているバスケットボールスポーツ少年団で、一つでも多くの試合に勝つことです。そのために、日頃の練習から「フアイトー！」、「ナイスシュートー！」など、大きな声で声かけをして、チームワーク・チームプレーを大事にしたいと思います。

二つ目は、学校行事に積極的に参加することです。あいさつ運動やボランティア活動などいろいろな行事に参加して、学校を盛り上げたいです。この二つの目標を達成できるように、最高学年として一年間がんばりたいです。

充実を目指して

才川真由
(平成2年生)



新年を迎える度、年月の流れの早さを思います。

今年、私は年女という事で尚更です。

この十二年を振り返ると、周りの環境の変化についていくのに必死で、慌しく毎日を過ごしていた様に思います。特に昨年は四年間通った大学を卒業し、晴れて社会人となりました。試験のために無我夢中で勉強し、合格した時は胸を撫で下ろしましたが、結局は現在の方が学ぶことの多い日々です。

仕事にも多少慣れ、今年は落ち着き余裕を持つて対応できるのではないかと思うので、友人とゆつくりできる時間を見つけて公私共に充実を目指していききたいと思います。

心の成長を目指して

前川茂樹
(昭和53年生)



昨年からは今年、正月にかけて、富

山第一高校の野球部とサッカー部の活躍が、新聞やテレビで大きく取り上げられていたのは記憶に新しいところです。

そこでの選手達は必ず相手チームを称え、監督、チームメイト、応援団への感謝の気持ちを述べていました。その迷いのない受け答えは常日頃から周囲の人を敬い、感謝の気持ちを抱いているからこそのものであり、それに比べて彼らの二倍の時間を生きている自分の普段の言動が、歳相応のものであるかを考えさせられました。

そんな私にも時間は平等に過ぎ、今年で四度目の干支を迎えました。これまでの私には「お手本とすべきは年長者のみ」との思い込みがあり、自分の後輩や年少者から何かを学ぼうとする意識が希薄であった気がします。これから作家 吉川英治の言葉を借りて「我以外皆我師なり」の言葉を胸に常に向上心を持ち、

自己成長に努めて行きたいと思えます。

夢を見て

青山誠
(昭和41年生)



近年、

大震災を含む全国的な自然

災害や政治・経済の不安定な事で厳しい現実を見せられてなかなか夢を見る事がなかったのですが、その中で昨年2020年に東京オリンピック開催が決定になり、私としてもワクワクしております。

前回の東京オリンピックは、私の生まれる前の事で、当時の盛り上がりなどは過去の映像でしか見たことがなく、今回それをリアルタイムで感じられるかと思うととても楽しみです。

この事は大人も楽しみでしょうが、子供たちにとっても大きな目標になるとおもいます。6年後、私たちの代の子供たちが競技者として丁度良い年齢になってくるので、もしかしたら南山見地区からオリンピック選手が誕生するのではないかと考えると、どんどん夢は膨らんでいきます。

人生これから

山本智子
(昭和29年生)



早いもので六回目を迎える、

あつという間に六十年が過ぎました。これも地域の方々、家族の支えがあつてこそと感謝しております。

昨年、南山見小学校の同級生で伊勢神宮参拝に行つて来ました。四十数年ぶりに会つた友も昔の面影があり、ほっとしたと同時に懐かしい日々を思い出しました。お互いに健康で再会の約束をして帰路につきました。

そのためにも、いつまでも健康でありたいと願つていきます。足のケガもあり、リハビリと思い昨年から水中ウォーキングを始めました。また大好きなビーチも、チームの仲間と共に週二回行つており、どちらも思つていきます。常に食事は食べ過ぎ、飲み過ぎないように腹七分目を心掛けてしながら、これからの人生をゆつくりと楽しんでいきたいと思えます。

一所懸命

小橋 徳夫
(昭和29年生)



天を駆ける神聖な馬は、絵馬で見られるように神に仕える神聖な生きものとされ、時代を切り開く力を持つといわれています。

午年の還暦の年を迎えることになりました。前進・跳躍・発展の瑞祥あふれる年になるように努力していきたいと考えております。

地域のみなさんに支えて頂いていることに心から感謝しているその気持ちが伝わるように、懸命に努めていきたいです。

うま年の新年を迎えて

碓井 久美子
(昭和29年生)



還暦を間近にして、南山見小学校での同級生と会いました。卒業

業以来、四十七年が過ぎていきます。お互いの変容の中に昔のおもかげを見つけ、名前が分かったときはとてもうれしかったです。

遠くへ嫁いだ人の話、病気を克服した話、他県で頑張っている人の話、等々なつかしく話が進みました。

中でも同級会の名前を決める際、皆が一様に南山見小学校校歌を口ずさみ、「八乙女おろしの会」に決まりました。節目に歌っていた校歌がこんなにも記憶に残っていることに驚きました。本当に楽しい集いであり、これからの会の催しも楽しみです。

還暦を機になつかしい出会いを得たことに感謝しつつ、これからも自分なりの歩みを続けていきたいと思えます。

自然を満喫したい

箭原 健作
(昭和17年生)



いつの間にか、お蔭さまで七人の孫爺となりました。緑豊かな八乙女山を仰ぎ、美味しいお米の収穫できる南山見の地、孫爺は「健爺からのお米は美

味しい」と言っており、楽しく食していただいているとか、嬉しい事です。

これからの農業はどのような方向に進むのか、今は地域みんなで、先祖代々受け継いだ土地を守って行こうと、試行錯誤しながら各々の立場で取り組んでおられることは、大変うれしいことです。

自分も七十二歳、老いてはきました。自然が大好きです。今日まで大病もせず過せたことは嬉しく感謝しております。体力がゆるす限り、山歩き、野歩き、自然を満喫したいと思っております。

私の歩み

前川 文治
(昭和17年生)



月日の経つのは早いもので、七回

目の午年を迎えました。青年団時代は南山見が支部に分かれて、陸上競技大会や演劇祭等が有り、皆さん方に大変喜ばれたことが記憶にあります。昭和四十三年三月に院瀬見土地改良区に努め、四月から団体営農ほ場整備事業に着手し、四十七年三月に

目出たく事業が完成しました。私は四十八年に就職し、産業部門で一冊の設計書をお願い、現場と図面の確認してほしいと言われたのが大変嬉しく、今でも思い出に残っています。平成十七年三月から院瀬見育苗センターで、水稻の苗作り作業を行って九年、この間ファーム八乙女組合員の皆様方のご協力を頂き大変有難うございます。また、二十一年から玉ねぎの育苗作業も行い、現在に至っております。

明日への言葉

堀越 尚男
(昭和5年生)



早くも八回目の午年を迎えました。

茶の間越しに見る寒椿は赤く一面に咲いて居ます。冬の赤はきれいです。暖かくさえ感じます。

還暦を迎えたのは昨日の様に思っていたら、もうこんな年齢になっていると思うと、感慨深いものがあります。光陰矢のごとしとは昔の人は、うまく言ったものです。退職二十数年経ちますが家庭菜園にもなれました。また毎朝の

犬の散歩も二十年余り歩き続けています。年中行事の掃除をすませ、押入れより桐箱入りの木彫りの天神様を出した時、楠の香りが鼻をつき立派な顔立ちにほっとするのです。

三十三回忌を迎えた親の顔がよぎると共に、散歩に通る南砺用水の横を歩きながら眼下に砺波散居村を見て、今年も皆様に支えられ、健康に元気にすごしたいものです。

お蔭様と感謝

須川 肇治
(昭和5年生)



この世に生まれ八度目の千支を迎え、大病もせず健康に過ごさせて頂き、先ず感謝しております。

私達の青春時代は戦争と終戦と激動の時代でしたが、先輩や先人のお蔭で平和な社会となり、福祉、医療が充実して長寿社会となり、お蔭で長生きさせて頂いております。これも家族をはじめ周囲の人達のお蔭と感謝しています。残された人生の一日一日を大切に、お蔭様と感謝の気持ちを忘れず、毎日を過ごしたいと思えます。

第36回 八乙女文化祭

11月17日(日)に八乙女文化祭が開催されました



開祭式に続いてコントで健康ボランティアグループによる「コントE健康」がありました。その後、音楽教室のみなさんによるピアノ演奏、ハンドベル演奏を皮切りに、保育園児によるリズムダンス、各地区の児童クラブのみんなによる歌やダンス、紙芝居など。午後からは、各種グループの皆様による踊り、詩吟、大正琴や三味線などの演目があり、会場はとても盛り上がっていました。

また、館内では各種団体の活動報告、作品展示、農産物の品評会や模擬店も行なわれました。児童クラブの作品展示では、クリアティッシュケースを製作し、子供たちが思い思いに花やシールを貼って個



性豊かな作品が出来あがりました。また、農産物品評会では、立派な野菜が数多く出品されていました。

少し肌寒さも感じられましたが、天候にも恵まれ、皆様の多大なるご協力によって大盛況となり文化祭も幕を閉じました。

児童クラブ 沼田 博



新年の集い



新年恒例の南山見地区「新年の集い」が一月五日午後六時から、公民館において盛大に開催されました。

今年も川原井波行政センター長、才川市議をはじめ多数のご来賓をお招きし、澤田自治振興会長の挨拶で開会しました。篠原公民館長の乾杯の発声で祝宴が始まると、才川市

賀 正



議の議長就任を祝う声や、多くの談笑が各テーブルから聞こえ、皆さん時がたつのも忘れて歓談されました。今年も公民館活動を通して地区の皆様が健康で充実した一年を過ごせますよう努力していきたいと思えます。

(事務局)

花壇づくりとクリスマス



地域に育つ子どもたち

昨年12月、地域の子どもたちが集って楽しめるようにと、例年のクリスマス会を催したところ、未就学児を含めて50名近くの児童が集まってくれました。

上学年の児童はまず、地域に住む花と緑の銀行のみなさんの助けを得ながら、プランターにチューリップの球根植えを行いました。雪が降る中の作業でしたが、かじかむ手でいくつもの球根を進んで植えてくれました。

寒さに耐え、公民館ホール

に入ると、下学年の子どもたちが飾ったクリスマスツリーが迎えてくれました。温かな雰囲気のホテルで、ケーキをいただき、ビンゴやサンタからのプレゼントに歓声が上がりました。そして、手伝っ



てくださった花と緑の銀行のみなさんも交え、楽しい時間を過ごすことができました。

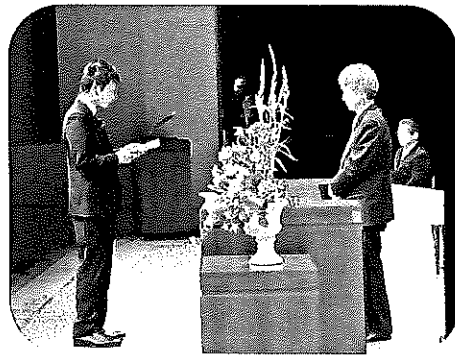
今回改めて、地域行事に素直に集い、楽しんでくれる子どもたちと、その様子を笑顔で見守ってくださる地域の皆様存在をとっても暖かく感じました。今後とも、地域の皆様の温かい目で、素直な子どもたちの育ちを見守っていただけると幸いです。

(児童クラブ 岩崎泰明)



成人式をお迎えのみなさん おめでとうございます

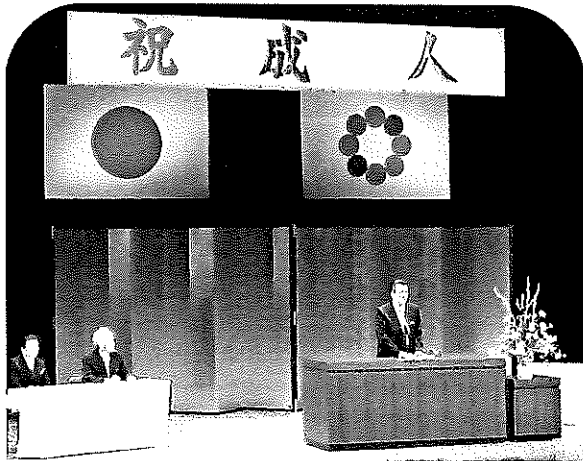
南砺市の平成26年の成人式が1月12日(日)午前10時より、例年のとおり旧町村毎に8地区で行われました。



んが代表で謝辞を述べました。

会場では、スーツ姿、振袖姿の新成人が級友たちと再会を喜び合い、大人の自覚と社会人としての心構えを新にしていきました。そのあと新成人の企画に

井波総合文化センターでは、来賓の方々や家族の方のご来場をいただき、井波地域で79名の成人者のうち71名の皆さんが出席し、晴れやかに大人への第一歩を踏み出しました。今年の南山見地区は、男子2名・女子1名で少ない人数でした。田中市長のスクリーンを通じて全成人者に祝辞があり、井波地区では須川誠さ



よる「成人者の集い」が行なわれ、小学校、中学校の思い出がスクリーンに写され、恩師よりお祝いの言葉や思い出話などを聞きました。

会場から歓声や笑い声がひびき、終始なかなかの雰囲気の中、旧友との仲を温めているのが見られ、心に残る成人式でした。

(事務局)

受賞おめでとう

平成25年11月22日、23日金沢市「アートシアターいしかわ」に於いて、第57回現代学生読書大会が開催され、当公民館少年研修館書道教室も参加致しました。成績は次の通りです。

- 特選 四年 谷田 咲来
- 特選 四年 山田 美弥
- 銀賞 二年 谷田 練太郎

事務局



行事予定

- 2月14日(金) 午後7時半〜平成25年度 公民講座「南砺市の地域包括医療ケアについて」
- 2月23日(日) 午前9時〜第25回 南山見地区「三世代交流の集い」

南山見人口

男	490名	(505名)
女	551名	(552名)
計	1,041名	(1,057名)

平成25年12月31日現在
()は昨年度

南砺の子

この地区としては、珍しく積雪の少ない冬を過ごしています。今まで当たり前の雪との格闘がなく、少し物足りなく感じておられる方もあるのでは……と。
1月17日、阪神・淡路大震災発生から19年です。最近テレビで森本く富樫断層帯存在のニュースがありました。砺波地方でもM6くM7の地震が予想されると言います。天災は何時やってくるかわかりません。地域の人が日頃から良い人間関係を作っておく事が大切です。その事により明るく住みよい地域、そして社会にもつながっていくのではないのでしょうか。

編集後記

